

鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

部会名	防災減災部会	会議名	第6回会議		
日付	令和5年11月17日	場所	鶴嶺東コミセン	記入者	浦賀 伸幸
<主な内容>					
議題1 令和5年度防災訓練について（概要報告）					
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会より、11月5日に実施した合同防災訓練の結果、避難所の様子について報告した。 ・円蔵： 鶴嶺高校の学生が、円蔵中学校および円蔵小学校の防災訓練に参加した。 道路が狭いことから、地震発生時には避難経路の確保が課題となっている。 ・矢畑： 避難所において、声が聞き取りにくい環境を改善する必要性を感じた。 ・西久保： 前日に消防団による巡回周知をしたが、集合住宅の参加率が低かった。 消防第七分団による救命救助訓練を、浜之郷小学校において実施した。 西久保に割り当てられていたトランシーバーのCHを15(呼出し専用)から変更する。 ・浜之郷： 顔合わせ場所に直接集まって安否確認を実施した。（約120箇所） 小さいグループ単位で、要支援者も含めて極め細かく把握されている。 ・下町屋： 黄色いタオルを配付し、防災訓練時に玄関掲示してもらい安否確認を実施した。 ・TBS： 要支援者宅の訪問を通して、顔見知りの大切さを痛感した。 今回は地震想定訓練であったが、水害を想定した訓練の必要性を認識した。 ・サニータウン： 10月の秋祭りで防災訓練のPRを図り、高参加率を実現した。 夜間停電を想定した蓄電器と照明器具を活用した訓練も実施した。 ・ホームタウン： 10月に2回告知し安否確認を実施した。要支援者の垂直避難訓練も実施した。 昨年推奨されたトランシーバーのロングアンテナを採用し通信性能が改善した。 ・アイランド： 10月からエレベーターに防災訓練のポスターを貼り周知した。 敷地内のマンホールトイレの設置（使い方）訓練を実施した。 ・今後の訓練に向けた要望 防災資機材の説明について、訓練内容の充実化が望まれていた。 参加し易さの点で、3連休は避けて防災訓練を開催して頂きたい。 避難所において、近隣の自治会の防災リーダーと顔合わせをして連携強化を図りたい。 起震車などを用いた体験型訓練を再開して頂きたい。 自治会会員以外へ防災訓練参加を周知する良い方法があれば共有して頂きたい。 					
議題2 【茅ヶ崎市からの要請議題】避難行動要支援者支援制度の取り組みについて					
<ul style="list-style-type: none"> ・「取り組みシート」に、各自治会からの意見を反映した。 					
以上					
<次回の予定・内容>					
令和6年1月19日（金）					
出席者：					
高橋 夏木（矢畑）、		吉野 浩二（矢畑）、		浦賀 伸幸（西久保）	
森谷 義明（円蔵）、		石井 浩（西久保）、			
粕谷 勉（浜之郷）、		浪越 哲也（浜之郷）、		内藤 一夫（下町屋）	
杉村 一憲（TBS）、		吉原 弘子（TBS）、		岩田 明（サニータウン）	
入沢 孝（ホームタウン）、		高 比呂志（ホームタウン）、		坪井 一樹（アイランド）	
小室 喜久雄（民生委員 矢畑）、		尾坂 清（鶴嶺東コミセン）、			
清水（市民自治推進課）					
出席者計：17名（敬称略） 順不同					